

日本甲虫学会第5回大会のご案内

日本甲虫学会第5回大会を次の要領で開催することになりました。学会員外のご参加も歓迎しますので、甲虫類や自然に興味をおもちの皆様には奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。なお、シンポジウム（1日目）および同定会（2日目）はどなたでも無料でご参加いただけます。高校生以下の方はその他の講演や分科会にも無料でご参加いただけます。

大会概要

会 場：倉敷市立自然史博物館・倉敷市立美術館（岡山県倉敷市中央2-6-1）

会 期：2014年11月22日（土）～23日（日）

主 催：日本甲虫学会 主管 日本甲虫学会第5回大会事務局（倉敷市立自然史博物館内）

共 催：倉敷市教育委員会・倉敷市立自然史博物館

後 援：倉敷市立自然史博物館友の会・倉敷昆虫同好会・岡山昆虫談話会

大会日程（暫定プログラム）

第1日：11月22日（土）

大会受付開始 09：30～

評議員会 10：00～11：40

一般講演（口頭発表） 11：45～12：15

O-1「アオバネサルハムシは1種か？」…末長晴輝（岡山県美作県民局）

O-2「安定同位体を用いた食材性コガネムシ上科の食性分析」（○三島達也（九大院・比文）・兵藤不二夫（岡大・異分野）・荒谷邦雄（九大院・比文））

昼休憩 12：15～12：45

総会 12：45～14：00

日本甲虫学会賞授与式・論文賞記念講演 14：00～14：30

論文賞受賞論文「Revision of the Genus *Allochotes* (Coleoptera, Cleridae) from Japan（日本産マルカッコウムシ属（コウチュウ目、カッコウムシ科）の分類学的再検討）」…村上広将（愛媛大・農・環境昆虫）

公開シンポジウム「甲虫類の知られざる生態 ー甲虫生態学最前線ー」

14：30～16：45

趣旨：野外で甲虫を見つけるには、生息環境や出現時期、寄主などの生態に関する知識が不可欠である。私たち甲虫屋は、採集するための生態に関連した知識は豊富に持っていることは間違いない。しかし、一部のグループの甲虫を除けば、室内飼育を含め甲虫の生き様を詳しく観察する機会には意外と少ないかもしれない。今回のシンポジウムでは、行動を含めた甲虫の生態研究を行っている研究者をお招きし、最新の研究成果を発表していただくことにした。このシンポジウムを通じて、甲虫の生態の奥深さ・面白さを改めて考える機会にしたい。

コーディネーター 林 成多

話題提供

- S-1 「わかっているようでわかっていない!? ゲンジボタルの配偶行動」…川野敬介 (下関教委)
- S-2 「イモムシハンター・クロカタビロオサムシの得手不得手」…杉浦真治 (神戸大院・農学)
- S-3 「闘う、飛ぶ、それとも物陰に潜む? ヨツボシケシキスイのオスの巧みな戦術」…岡田賢祐 (岡山大院・環境生命科学)
- S-4 「アカマダラハナムグリは鳥の巣で育つ」…越山洋三 (フィールドデータ・岡山県赤磐市)
- ・討論 「甲虫の生態研究は面白い」

懇親会 「倉敷ロイヤルアートホテル」(旧「ホテル日航倉敷」)

18:00-20:00

第2日: 11月23日(日)

標本同定会 (公開)

9:10-10:30

甲虫類標本の同定会を行います。ご所蔵の同定未解決の標本をお持ちよりください。なお、同定依頼する標本は必ずマウントされ、データラベル付きのものにしてください。これまでに申し出のあった同定協力分類群: ゴミムシ類, アトキリゴミムシ類, エンマムシ科, ハネカクシ科, アリヅカムシ亜科, ガムシ科, ヒメドロムシ科, 水生甲虫, タマムシ科, コメツキムシ科, コメツキダマシ科, ベニボタル科, ジョウカイボン科, ナガシクイムシ科, ケシキスイ科, アカハネムシ科, ヒラタムシ上科, ハナノミ科, カミキリムシ科, トゲハムシ類, カメノコハムシ類, ハムシ科, チョッキリゾウムシ科, ゾウムシ類, ハサミムシ目 (特別協力)。 (ご協力受付中)

ポスター発表

9:10-10:30

- P-1 「岡山県におけるヒラズゲンセイ (ツチハンミョウ科) の分布拡大」…○奥島雄一 (倉敷自然史博)・小橋理絵子 (倉敷自然史博友の会)・神田佐奈恵 (倉敷自然史博)
- P-2 「九州大学伊都キャンパス生物多様性保全ゾーンにおける 2012 年度実習ピットフォールトラップ調査~甲虫類~ (予報)」…○細谷忠嗣 (九大決断セ)・三島達也・吉澤聡史 (九大院比文)・井手竜也 (森林総研)・會津光博・藤井智久・Gabriel Alonzo Carreira・加藤啓祐 (九大院比文)・和智仲是 (JT 生命誌)・浦志知恵・田口大輔 (九大院比文)・高木大司 (福岡大理)・鈴木大 (九大決断セ)・石川善朗 (福岡大理)・館卓司 (九大院比文)
- P-3 「インドネシア・スラウェシ産好白蟻性デオキノコムシ類 (ハネカクシ科, デオキノコムシ亜科)」…○小川 遼・前藤 薫 (神戸大院・農・昆虫)
- P-4 「日本産ヒメクモゾウムシ族の属分類」…○藤澤侑典・小島弘昭 (東農大・農・昆虫)
- P-5 「クイロカッコウムシ属 (カッコウムシ科) の分類学的再検討」…村上広将 (愛媛大・環境昆虫研)
- P-6 「大阪市 24 区の甲虫相とその変遷」…○初宿成彦 (大阪市自然史博)・安井通宏 (大阪市阿倍野区)・伊藤建夫 (京都府八幡市)・富永修 (奈良市)・三宅規子 (大阪府泉大津市)・市川顕彦 (大阪市大正区)・河合正人 (大阪市天王寺区)・大阪市立自然史博物館「都市の自然」調査グループ甲虫班
- P-7 「ジョウカイモドキの交尾器内袋—イソジョウカイモドキ属での観察」…吉富博之 (愛媛大学ミュージアム)
- 一般講演** (口頭発表) 10:30-12:15, 13:00-15:45
- O-3 「ダンダラテントウの分布北上と分布を規定する気候要因」…○河上康子 (大阪市博・外来研)・山崎一夫 (大阪市環科研)・大橋和典 (豊中市)
- O-4 「スラウェシとイリアンジャヤの PAP アカミキリの新知見」…R. Hartono (Bantimurung 昆虫研)・○斉藤秀生 (一財・自然研)
- O-5 「ムネアカセンチコガネは地下生菌類を食べる」…○日暮卓志 (八街市)・棚橋薫彦 (産総研)

O-6「西表島で採集された日本初記録科となるガムシ上科 Spercheidae 科の1種」…○北野忠（東海大学教養学部）・河野裕美（東海大学沖縄地域研究センター）・多比良嘉晃（静岡市）

O-7「ホンシュウオオイチョモンジシマゲンゴロウの蛹室造成に関する知見」…○棚本良介・齊木康太・北野忠（東海大学教養学部）

O-8「日本産タマキスイ科（コウチュウ目）の分類・生態的知見について」…久松定智（愛媛大・農・農生態学研究室）

昼休憩

O-9「インドネシアから *Phanodesta* 属（コクヌスト科）の発見」…吉富博之（愛媛大学ミュージアム）

O-10「小笠原諸島・伊豆諸島のアリヅカムシ相に関する新知見」…野村周平（国立科博）・亀澤洋（川越市）

O-11「香川県におけるヒラズイソアリヅカムシの分布と生息環境」…○滝朋子（香川県東かがわ市）・藤本博文（香川県宇多津町）

O-12「小笠原産オオマルシバンムシ属の1新種（コウチュウ目、ヒョウホンムシ科）」…○惣中光太郎（愛媛大学院）・酒井雅博（東温市）

O-13「日本産リクワガタ属共生酵母のキシロース発酵能および温度適応」…○渡邊花奈（東大院農）・棚橋薫彦（産総研）・深津武馬（産総研）・久保田耕平（東大院農）

O-14「ユキグニコルリクワガタの共生酵母の取り込みと産卵行動」…渡邊花奈（東大院農）・久保田耕平（東大院農）・棚橋薫彦（産総研）

O-15「甲虫分類学者は名古屋議定書にどう対処すべきか？」…荒谷邦雄（九大・院・比文）

O-16「日本産コガシラミズムシ科の分類学的再検討」…岩田朋文（愛媛大・農・環境昆虫研）

O-17「津波前後の東北太平洋岸におけるケシガムシ属種構成の変化」…○稻荷尚記（北大総博）・小林憲生（埼玉県・共通教育）・大原昌宏（北大総博）

O-18「北米西海岸の海浜性甲虫相について」…○大原昌宏（北大総博）・稻荷尚記（北大総博）・小林憲生（埼玉県・共通教育）

O-19「環太平洋北部の海浜性ケシガムシ属の分子系統」…○小林憲生（埼玉県・共通教育）・稻荷尚記（北大総博）・大原昌宏（北大総博）

分科会

16:00-17:00

水生甲虫分科会「ひと、輝くむし 媛泥。」（世話人：林成多・吉富博之）

D-1「アシナガミゾドロムシ長翅型の出現率の変動と飛行能力の検討」…林成多（ホシザキグリーン財団）

D-2「脚長 *Ancyronyx* 属の採り方と分類学的位置」…吉富博之（愛媛大学ミュージアム）

D-3「海外のヒメドロムシ事情」…小川 直記（北海道大学農学院 昆虫体系学研究室）

雑甲虫分科会（世話人：生川展行）

D-4「コメツキダマシのはなし～地味なコメツキダマシが結構おもしろい～」…鈴木互（法政二高）

ゾウムシ分科会（世話人：的場績）

D-5「*Lacnaeus crinitus* の分布と発生生態について」…佐藤隆志（JWIN）

D-6「昨年東京農大の調査で発見されイクビチョッキリの分類についての検討」…伊澤和義（多治見市）

D-7「愛知県産ゾウムシ類のDNA バーコードライブラリーの構築に参加して」…井上品次（名古屋市）

ゴミムシ分科会（世話人：伊藤昇）

D-8「大峰山系の自然と歩行虫科を中心とした虫たち」…伊藤昇（TTI技術顧問）

ハネカクシ分科会（世話人：野村周平）

カミキリ分科会（世話人：山迫淳介）

*時間は都合により変更する可能性があります。

参加費

- ・大会参加費 1,000 円，高校生以下は無料（ただし，要旨集実費）
- ・懇親会費 一般 7,000 円，同伴者・学生 5,000 円（懇親会の 11 月 19 日以降のお申込みはそれぞれ 3,000 円増し）

参加費は当日徴収しますが，本大会は事前申し込みが原則です。

参加申込み

できるだけ電子メールで次のように行ってください。トラブル防止のため，返信をご確認ください。メールでの申込みができない方は，事務局（担当：奥島）までファックスか郵便でお申込みください。

申込み先アドレス（奥島，ただし 9MB まで）：musoku@city.kurashiki.okayama.jp

〈大会・懇親会参加申込み〉

名簿作成の都合上，次の内容をお知らせください。

- 1) 氏名
- 2) 一般・学生の別
- 3) 所属名（名札に入れます）
- 4) 専門分野（名札に入れます）
- 5) 連絡先住所
- 6) 連絡先電話
- 7) メールアドレス
- 8) 懇親会参加の有無（同伴者の有無）
- 9) 予約宿泊施設名および宿泊日（倉敷市内のみ，補助金申請のためご協力お願いします）
- 10) 同定会講師の協力の有無

発表者の方へ

〈口頭発表〉

1 題につき 15 分間，発表 12 分と質疑 3 分とします。発表が終わりましたら，次の講演の座長をお願いします。大会の使用パソコンは Windows 7，ソフトは Power Point 2007 を予定，ファイルの保存メディアは CD-R，DVD-R，USB メモリが利用可能の見込みです。必ずウイルスチェックを行い，事故に備えてバックアップをおもちください。ウイルスが発見された場合には，発表をお断りすることがあります。動画再生をご希望の方はあらかじめご相談ください。

〈ポスター発表〉

1 題につき縦 172.5cm×横 115cm のスペースに収まるようにご用意ください。大会 1 日目の朝から掲示可能ですので，ご自身での掲示をお願いします。掲示用品は会場にあります。ポスター発表の時間帯には，できるだけ会場で説明をお願いします。2 日目の分科会開催前までにご自身で撤収をお願いします。

〈分科会〉

発表機器の操作はそれぞれの分科会で行ってください。会場は当日ご案内します。

その他

★大会参加者の方は会期中、倉敷市立自然史博物館および倉敷市立美術館の展示が無料でご覧いただけます（9：00－17：15）。受付で名札をお見せください。また、市内施設で使えるコンベンション割引券を配布予定です。

〈前後泊される方へ〉

大会前日：11月21日（金）

★岡山大学附属図書館資源植物科学研究所分館（旧大原農研）がご利用いただけます（9：00－17：00）。大会会場から南へ約200m。昆虫関係の古い文献が充実しています。コピー可（35円/1枚）。大会当日は休館日です。TEL 086-434-1204 URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/ipsr/lib/index.html>

★倉敷昆虫館の見学が可能です（9：30－17：00、13：00－14：00 休）。大会会場から北東へ約1km。岡山県産の古い標本や地方の同好会誌などが充実しています。TEL 086-422-8207 URL http://www.shigei.or.jp/ento_museum/

大会翌日：11月24日（月・祝）

★倉敷市立自然史博物館の収蔵庫を公開します（9：00－17：00）。閲覧ご希望の方は奥島までご連絡ください。大会当日は収蔵庫のご案内はできません。

会場周辺には、美観地区、大原美術館、アリオ・MOPなどの大型ショッピングモールなどの見どころもたくさんあります。

宿泊案内および昼食について

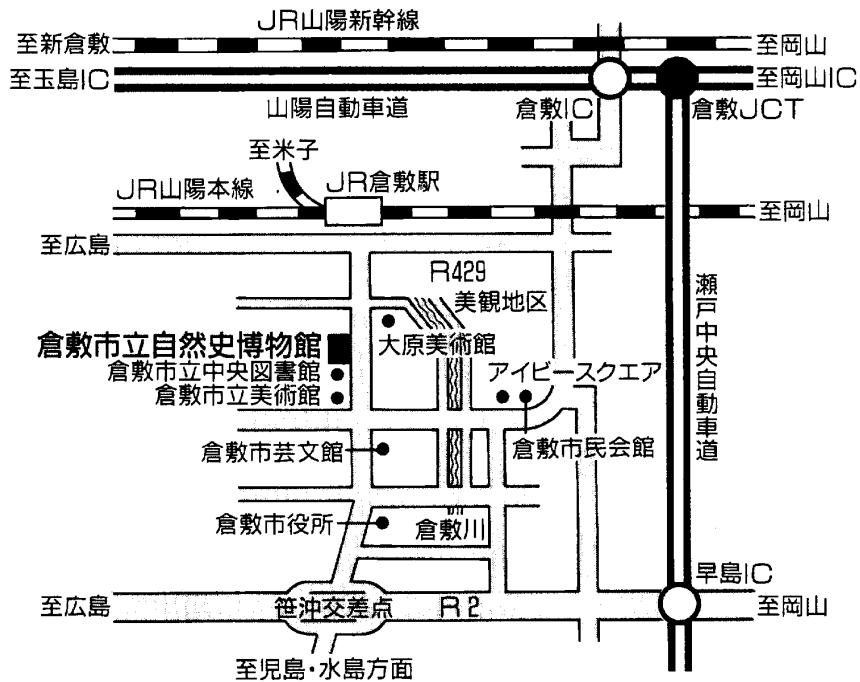
事務局では斡旋しませんので、各自でご予約ください。会場周辺からJR倉敷駅周辺にかけては多数のホテルがありますが、例年混雑が予想される時期ですので、お早目のご予約をお勧めします。

会場に近いのは、倉敷駅前ユニバーサルホテル、コートホテル倉敷、倉敷ロイヤルアートホテル（旧ホテル日航倉敷、懇親会会場）、ドーミーイン倉敷、倉敷国際ホテルなど、JR倉敷駅に近いのは、アパホテル<倉敷駅前>、倉敷ステーションホテル、東横イン倉敷駅南口、ホテルアルファワン倉敷、ホテルサンプラザ倉敷など、美観地区観光を兼ねるなら、倉敷アイビースクエアなどが便利な立地です。

昼食については会場周辺のコンビニ、レストランなどをご利用ください。会場内では、休憩室を除き、食べ物の持ち込みはご遠慮ください。

交通案内

JR倉敷駅より南へ約800m。JR・自家用車利用の場合（下図参照）。



新幹線をご利用の場合は岡山駅か新倉敷駅で山陽本線に乗り換えとなります。自家用車の方はホテルの駐車場か有料駐車場をご利用ください。

岡山空港利用の場合 (URL <http://www.okayama-airport.org/>)

岡山空港へは札幌・東京・沖縄から定期便があります。岡山・倉敷へは路線バスがあります。

高速バス利用の場合 (URL <http://www.navitime.co.jp/highwaybus/33>)

倉敷・岡山へは関東以西の各地から高速バスがあります。

大会事務局

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1 倉敷市立自然史博物館

「日本甲虫学会第5回大会事務局」 担当：奥島雄一

電話：086-425-6037 FAX：086-425-6038

奥島 e-mail: musoku@city.kurashiki.okayama.jp